



大阪ホーチミン社労士事務所本店新聞

VĂN PHÒNG TƯ VẤN LAO ĐỘNG VÀ BẢO HIỂM XÃ HỘI OSAKA- HỒ CHÍ MINH tru sở chính

日本とベトナム・ミャンマーの労務管理に関する情報新聞



発行所：〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-20-9-705

連絡先電話：06-6131-4922 F A X：06-6131-4933 Email：「info@ocsr.jp」

この新聞は大阪ホーチミン社労士事務所がお送りする労務管理に関する情報提供用労務管理新聞です。
名刺交換をさせていただいた方などにも配布させていただいております。

今後新聞が不要であれば、お手数ですが口にチェックを入れ、ご氏名をご記入の上、上記まで FAX をご送信ください。

→口ご氏名：

「こども誰でも通園制度」とは

少子化対策の施策として、こども誰も通園制度が始まる予定です。

1) 現行では、女性がフルタイムで仕事をしていないと、子供を保育園に預けることができない。

上記のため、パートで働いている人は、子育てが厳しい状況です。

これを解消するための制度です。

2) どんな制度？

こども誰でも通園制度は、保育所の利用要件を緩和し、親が就労していなくても子どもを預けることができるようにするものです。

政府が先にまとめた少子化対策のたたき台に、創設を検討することが盛り込まれています。

これについて小倉こども政策担当大臣は、1日夜に出演したBS日テレの「深層NEWS」で、「できれば来年の通常国会で法案を提出したい。来年ぐらいから新しい制度を始めたい」と述べ、早期実現に意欲を示しました。

また、少子化対策の財源について「国債を充てることについては慎重な検討が必要だが、現段階で議論は排除してない。ただ『徹底した歳出改革が必要だ』という国民の声が大きいように思うので、どんな歳出削減ができるか、知恵を絞っていきたい」と述べました。



↑ミャンマーのコストコ「マルコ」(タイ資本)

3) そもそも未婚率における男女の相違

男性の場合、年収が高いほど未婚率が低く、年収が低いほど未婚率が高いというわかりやすい傾向があります。

女性の場合は正反対で、年収が高い女性で未婚率が高く、年収が低いほど未婚率は低い傾向にあります。その背景には女性労働のあり方に原因があります。

女性にとって理想のライフコースである、仕事、家事、育児の両立が困難な状況にあること、それ故女性には家計補助的な就業が期待されるという役割分担意識が依然、根強いという背景があり、この現状を根本的に変えていかなければならないでしょう(祖母が孫の子育てをするなど)

何はともあれ「こども誰でも通園制度」にはきたいところですよ。

【編集後記】

↓ ミャンマーの日本語学校の様子です



学校のスタッフと撮影

よく見ると、私だけ大汗かいていますね（笑）

2023/4月現在ミャンマーは「夏」です。

ヤンゴン市内で最高気温42度、最低気温32度くらいです。

とにかく暑い！

クーラーをガンガンかけていないと、生活できません。

また、この暑い中「冷たい飲み物は体に良くない」という生活習慣のため、コーヒーや紅茶はアイスがありません・・・

そのクーラーも計画停電で最低1日4時間止まります。

そんな中、ビールを飲むのはたいへんおいしいです。

生中1杯70円くらいです。

安い！



↑ 仕事終わりに近所のビアホールで

おかげで体重がなにもしなくても、自然に痩せていきます。

だいたい3週間で3キロくらい痩せます。

健康的な生活です。

みなさんもミャンマーが落ち着いたたら、ぜひ観光に来て下さい！

【発行・編集】

- ・大阪ホーチミン社労士事務所本店 代表
- ・協同組合ろ一む 代表理事
- ・大阪ヤンゴン会計事務所 代表取締役
森 啓治郎
大阪市北区豊崎3-20-9-705
- ・弊社のホームページ・Facebookの訪問をお待ちしております

「<https://ocsr.jp/>」

「<https://www.facebook.com/ocsr.jp/>」

- ・大阪府社会保険労務士会所属
会員番号第10504号
- ・日本労働法学会正会員
会員番号762-766-0894号
- ・特定技能労働者登録支援機関
登録番号19-001426